



# 多文化共生社会の 実現に向けて

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくような地域づくり」（総務省多文化共生推進プランに係る通知より抜粋）のことです。



幸田町には、平成30年8月31日現在、26カ国、1,087人の外国籍町民が暮らしています。この人数は、町人口の約2.6%にあたり、平成20年9月と11月に記録した過去最高人数である1,094人に次ぐ数字となっています。

この特集では、外国籍町民が増えている中、町としての多文化共生社会の実現に向けた取り組み、また幸田町国際交流協会によって行われている活動などについてご紹介します。

## 町の状況と取り組み

### 町の取り組み

#### まちを知るツアー

外国籍町民に幸田町を知っていただくため、年に1回、町内の公共施設や名所などをバスで巡って施設の概要や使い方などの説明をしています。平成28年度には、前年アンケートで「区のお祭りをやっているのをたまに目にしたましたが、自分がその中に入っていました」というのが分からず、諦めてしまった」というご意見があったため、大草区のご協力のもと、区のお祭りの様子を見学し、日本のお祭り文化について知っていただくことができました。

#### 役場への通訳配置

平成30年8月31日現在、町内には、26カ国の外国籍町民がいます。人数が多い順に5カ国を紹介すると、ブラジルが379人、フィリピンが240人、ベトナムが169人、中国が105人、インドネシアが89人となっています。町では、ポルトガル語を母国語とする人（ブラジルなど）向けに、毎週月・水の午前10時から午後5時まで、役場庁舎に通訳を配置しています。

#### 総合防災訓練への参加

9月に実施する町の総合防災訓練に外国籍町民の皆さんも参加できるよう、町内の企業にお声掛けをして、避難訓練やバケツリレーによる消火訓練に参加しています。また、炊き出し訓練では、宗教上の関係で食べることができないメニュー（食材）があることが分かりました。



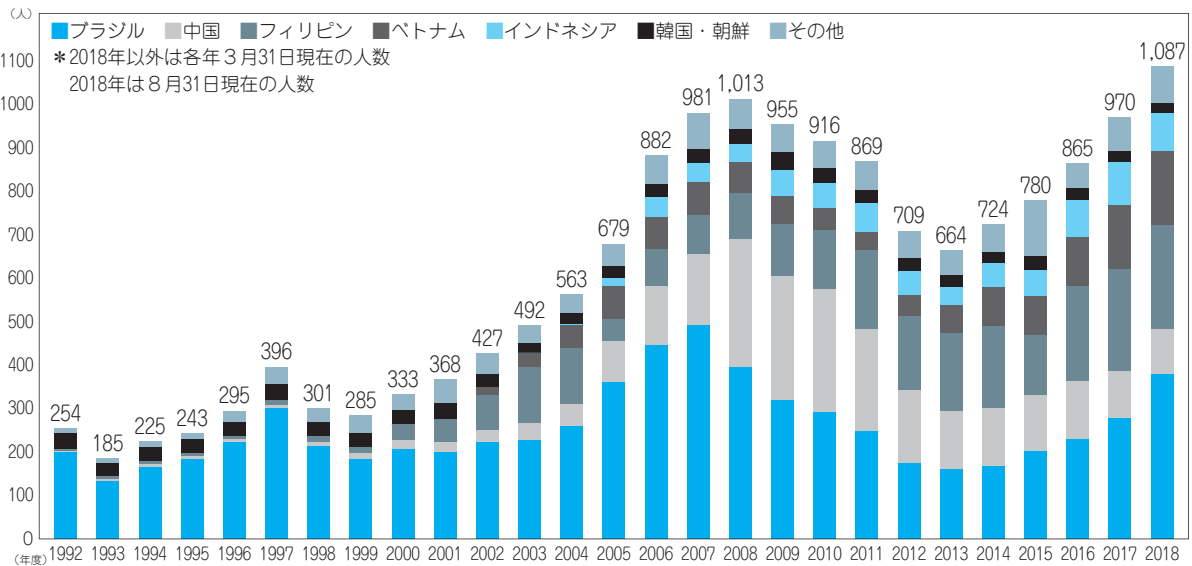
#### 日本語ボランティア入門講座

4ページに記載の幸田町国際交流協会（KIA）による「日本語サロン」で、外国籍の人に日本語を教えるボランティアを養成するための入門講座です。受講は無料で、東海日本語ネットワークから講師を招き、日本語を教えるためのノウハウを習得できます。今年度は2月に全3回で実施し、最終日に日本語サロンで実際に日本語を教えるという体験ができます。申し込み方法などについては、5ページをご覧ください。

## 外国籍町民の人口推移

町における外国籍町民の人口推移の特徴として、平成元年（1989年）から平成11年（1999年）までは約200人～300人の規模で増減を繰り返していましたが、以降、毎年増加し続け、平成20年（2008年）9月と11月には過去最高となる1,094人となりました。しかし、同年、世界中の企業などに大打撃を与えた

リーマンショックが起こり、これを境に、企業などで従業員を雇うことができなくなる事態となりました。町においても、外国籍町民は平成25年（2013年）まで減り続け、664人となりましたが、そこから再び、年間60人～100人のペースで増え、現在の人数となっています。



年2回、外国籍町民を対象に、日々の生活しているなかで困っていることなどをお聞きし、それについての回答や生活に役立つ情報を提供しています。会議には岡崎警察署から警察官にもお越しいただくとともに、町としても、誰もがより暮らしやすくなるためのヒントをたくさん得ることができるようになっていきます。また昨年度からは、2回の会議のうちの1回を生活のための講座とし、「防災講座」を開催しました。町防災安全課職員が講師となり、地震や風水害の時に気をつけることや事前に準備しておくものについて学んだり、シェイクアウト訓練、新聞スリッパづくり、非常食の試食などを行ったりしました。今年度は、町環境課職員を講師に招き9月に、「ごみの分け方・出し方講座」を開催しました。また、環境課では、外国籍の転

### 外国籍町民会議

## 誰もが同じように、暮らすことができるまでに。

入者に多言語（英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語の「ごみの分け方・出し方カレンダー」やイラストとローマ字表記の概要チラシを配布しています。そのほかにもローマ字表記の、「ごみ出し時の注意事項」を各区に配布し、「ごみステーション」に掲示しています。

### 国際理解・多文化共生推進事業

KIAの協力のもと、幸田彦左まつり開会式でのカンボジアの伝統舞踊の披露、彦左行列でのサンバ隊などに外国籍の人が参加しています。また、こうした夏まつりでは、外国の料理を楽しむブースを出店していただいています。ほかにも名古屋大学の留学生などを招き、盆踊りなどにも参加しています。

### そのほか

#### ◆三者通訳翻訳サービス

日本語を話すことができない外国籍の人でも、病気、けが、火事などのときに、電話で「119」をかければ、翻訳サービスをつけることができます。24時間受け付けています。対応言語は、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語です。

## 日本語 サロンと 利用者の声

平成5年に幸田町国際交流協会（KIA）が発足し、その後から外国人に毎週無料で日本語を教える教室「日本語サロン」が始まりました。今まで、約2,000人の外国籍の人が日本語を学んだそうです。日本語サロンに関わる人たちにインタビューをしました。

**日本語サロン**  
毎週日曜日の午前10時から11時30分まで、幸田町国際交流協会がまちづくり会館で開催している外国人向けの無料の日本語教室。  
お気軽にお立ち寄りください！



ハンさん  
(ベトナム)

私は、日本に来て1年です。幸田町内の企業で働いています。日本語サロンのことを友達から聞き、今年の2月から通っていて、7カ月経ちます。先生はみんな優しく、日本語だけではなく、日本の文化についても教えてくれます。日本語は、特に漢字が難しいですが、頑張っ覚えていきます。新しい言葉をもっともつと覚えたいです。私は日本語を覚えて、ベトナムで日本語の先生になりたいからです。

日本語の勉強ができて、友達もできるし、いいですよ。皆さんと一緒に勉強をしましょう！



トウ・タオさん  
(ベトナム)

ハンさんと一緒に働いていて、私も日本に来て1年です。日本語サロンに来て7カ月が経ちます。日本語は難しいとは思いますが、先生がいつも優しく教えてくれます。私は日本語検定の3級がとりたいので勉強を頑張っています。お金がからずに教えてくれるのでとてもうれしいです。

ここに来るといろいろな国の人がいる良いと思います。日本語の勉強だけではなくて、お花見やバーベキューもあって楽しいですよ。

## 日本語サロン講師の 大山さんに お話を伺いました

幸田町国際交流協会  
おおやま なおひさ  
大山 尚久さん



日本語ボランティア入門講座を受けてから講師となり、6年半が経ちました。私が生徒の皆さんと接するときに心掛けていることは、笑顔で接し、プレッシャーを与えないことです。

最初に教えた予のことは特によく覚えていて、日本語検定2級に合格するまで長期で教えました。このレベルは日本人でも難しいので、教える前に自分で事前学習をしていたことが、自身の勉強にもなったと思います。反対に、日本語を全く知らない人に、ひらがなの50音から教えることもあります。最初に難しい印象ばかり与えてしまうと来なくなってしまう生徒さんもあるので、根気よく、優しく教えるなど、先輩講師にアドバイスをいただきながら教えています。

講師をしていて心配なことは、「来なくなってしまう生徒に理由を聞けない」ことです。ある程度覚えたから来る必要がなくなったのか、諦めたのか。教え方が悪かったかな、などと考えてしまうこともあります。

また、多くの生徒が来る日は、講師が足りないこともあります。昨今、ボランティアという言葉が浸透し、興味がある人も増えてきたと思いますが、日本語サロンはまず何かを始めてみたいと興味をもっている人にとって、最初の一步を踏み出しやすい活動だと思います。興味があれば、男女を問わず、学生さんも大歓迎です。ぜひ一緒に活動しましょう。やりがいもあり、自身の価値観も大いに広がることと思います。





日本語を学べる、  
出会える、  
日々の暮らしの  
相談ができる



ヘルランディさん  
(インドネシア)

僕は、日本に来て2年です。日本語サロンについては、知立市のアームズ研修センターの人に教えてもらって知りました。一年半通っています。先生はいつも笑顔で日本語を教えてくださいます。日本語の漢字や送り仮名、ふりがななどが難しいです。インドネシアではなかなか仕事がないので、仕事のために覚えたいと思っています。日本語検定に受かると、インドネシアでも仕事に就くことができます。日本語サロンでは、日本語だけではなく、普段の生活で困ったことを相談したり、生活に役立つことを聞いたりできるので助かっています。

## 日本語ボランティア入門講座を受講してみませんか

**とき** 平成31年2月9日(土)、16日(土)、24日(日) 午前10時～正午 \*全3回

**ところ** まちづくり会館(菱池字錦田3)

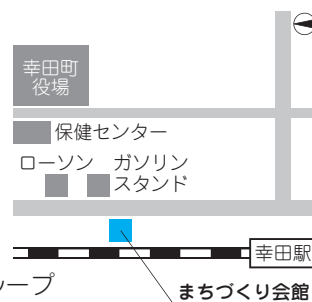
**内容** 外国籍の人に日本語を教えるためのノウハウを学びます。

**対象** 高校生以上で、外国籍の人に日本語を教えるボランティア活動に関心のある人。外国語が話せなくても大丈夫です。

**定員** 20人 **受講料** 無料 **講師** 東海日本語ネットワーク

**申込み** 10月15日(月)から平成31年1月11日(金)までに企画政策課政策情報グループ

☎(0564)62-1111(内線331) FAX(0564)63-5139へお申し込みください。



「話しかけていいのかな」、「言葉が通じないかもしれないな」

最初に不安な気持ちになるのは、お互い様。

外国籍町民の皆さんも、一生懸命、日本語を勉強して、

日本や幸田町の文化を知ろうとしています。

多文化共生は、地域の皆さんの少しの勇気と優しさで

その一歩から始まるのではないのでしょうか。

町としても多文化共生社会の実現に向け、引き続き事業を推進してまいります。

**問合せ** 企画政策課政策情報グループ ☎(0564)62-1111(内線331) FAX(0564)63-5139